

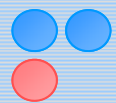


# 社会心理学⑤



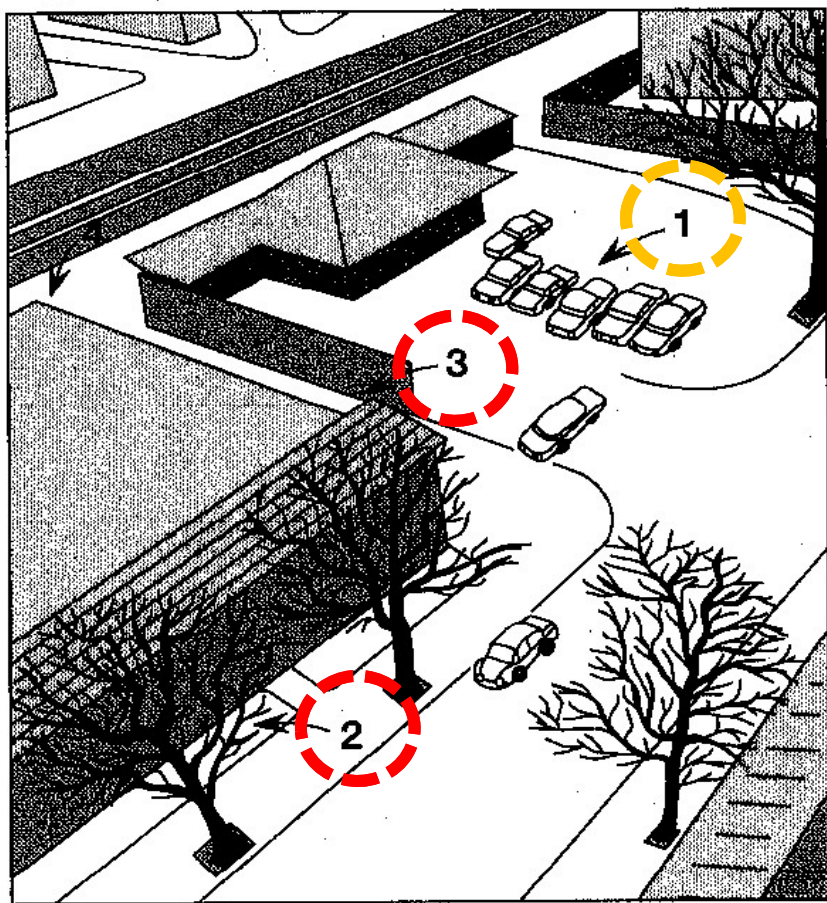
## 心理学 I 第13回

人はなぜ人を助けるのか？



# キティ・ジェノベーゼ殺害事件

1964年3月13日未明、ニューヨーク  
キティ・ジェノベーゼという女性が暴漢に襲われる

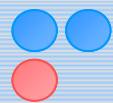


彼女は2度襲われる間、  
叫び声をあげた

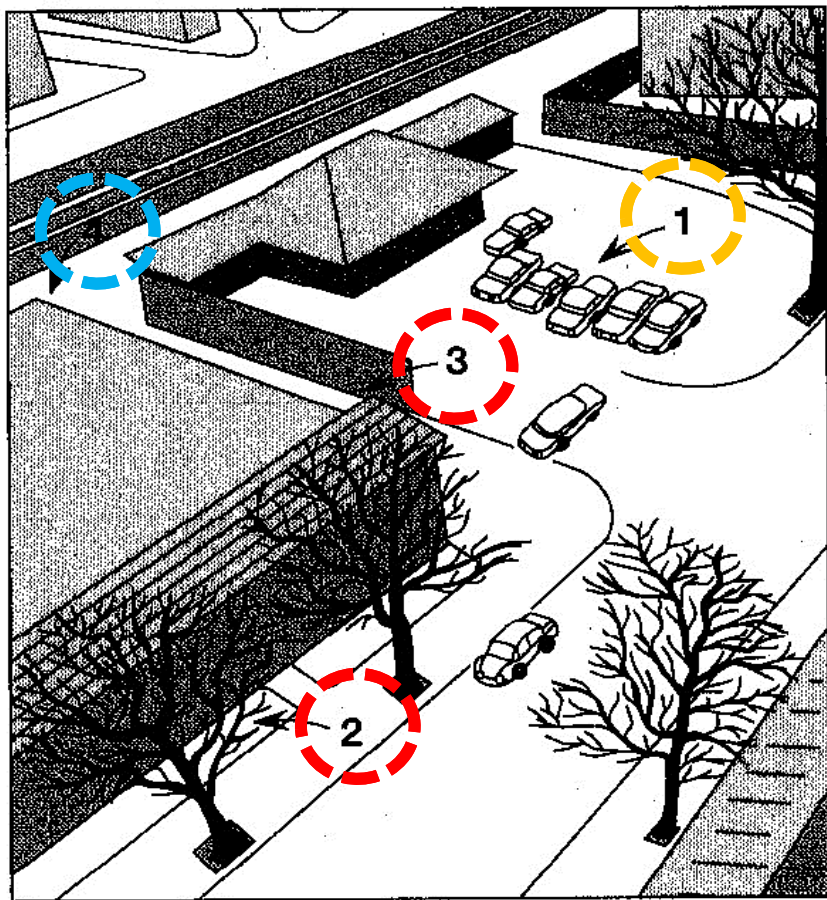


付近の住民38人が  
気づいていた

しかし...



# キティ・ジェノバーゼ殺害事件



しかし...

警察への通報は20分以上経ってから

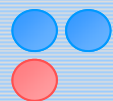


通報から2分で警察が到着したとき、すでに彼女は手遅れの状態

なぜ誰も彼女を救わなかったのか？

**Q1**

現代人・都会人の関係の希薄さ？ 冷淡さ？ モラルの低下？



# 都会での頼み事

## ◆ラタネ&ダーリー(1970)

マンハッタンの街頭で、通行人に色々な頼み事をして、どの程度の人に応えてくれるかを調べた



### 頼み事

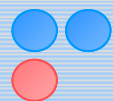
### 承諾率

今何時か教えてください

85%

タイムズスクエアへの  
道を教えてください

84%



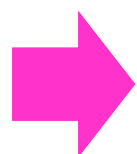
# 都会人は冷淡か？

頼み事	承諾率
25セントを両替してください	73%
名前を教えてください	39%
10セントください	34%

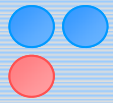
この承諾率を上げるにはどうする？

Q2

{	自分の名前を告げた場合	49%
	電話するためにと言った場合	64%
	財布を盗まれたと言った場合	72%



必ずしも、その当時の都会人・現代人が  
みな冷淡・無関心だったとはいえない



# 援助行動

## 援助行動

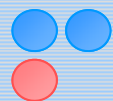
他者の身体的・心理的な幸せを願い、  
自分の意志で他者に恩恵を与える行動

しかし、援助行動をとることで、  
自分にとって何か得があるのだろうか…？

援助行動をとることに関わる、  
自分の「利益」「不利益」を考えてみよう

Q3



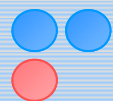


## 援助行動の利益、不利益

援助行動をとることに関わる「利益」「不利益」は、援助行動をとらない場合とセットで説明される

	援助を実行した場合	援助を実行しない場合
利益	感謝、賞賛、 自尊心の高揚	コストが不要
不利益	安全、労力、金銭 などのコスト	自尊心の低下、 社会的非難

しかし、こうした「損得」だけで「援助行動をとること・とらないこと」が説明できるだろうか…？



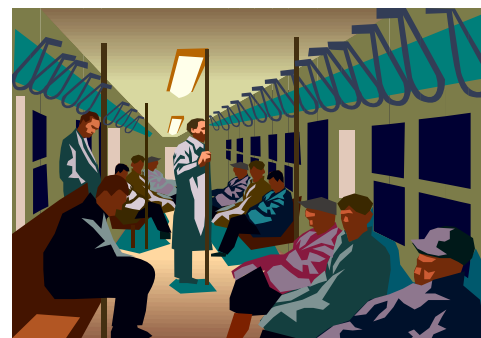
## 援助行動の規定因①

ケガをして倒れている人と、お酒に酔って倒れている人では、どちらが助けてもらいやすい？

Q4

### ◆ ピリアビンら(1969)

ニューヨークの地下鉄内で、男子学生が仰向けに倒れる



援助を受けた割合

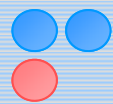
杖を持っていた場合

94%

お酒の匂いをさせ、酒瓶を持っていた場合

50%



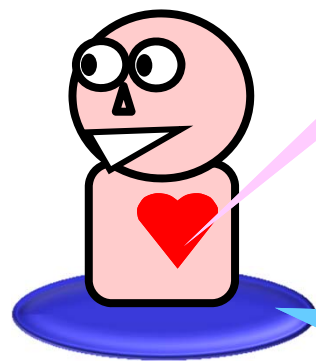


# 援助行動の規定因①

## 帰属

援助が必要になった原因が**外的帰属**される方が、**内的帰属**されるよりも援助されやすい

◆帰属理論: 人の行動原因を推測するときの考え方



その人の性格、能力などの内的要因

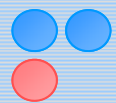
**内的帰属**

「自分で酒を飲んで倒れてる」

その時の状況等、  
その人のせいではない外的要因

**外的帰属**

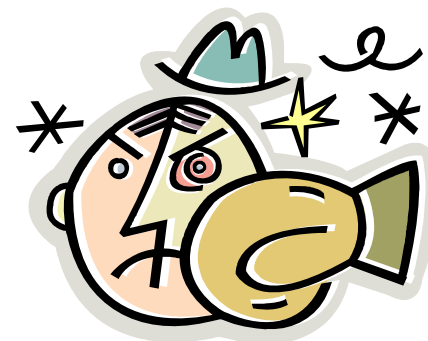
「身体が不自由だから  
地下鉄の揺れで倒れている」



## 援助行動の規定因②

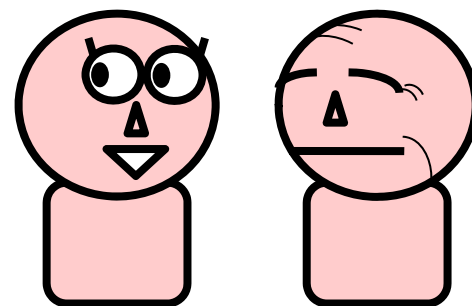
### 加害行為

被害者が被害を受ける  
様子を観察することで  
援助行動が促進される

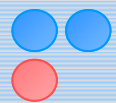


### 援助要請者

女性やお年寄り  
男性や若者よりも  
援助されやすい



どちらの要素も、援助が必要となった原因が  
本人の責任ではない(外的帰属)ことを示しやすい



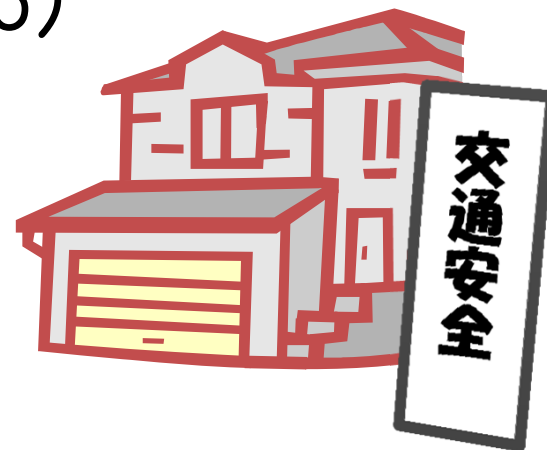
## 援助行動の規定因③

### 以前の援助経験

以前の援助経験があると、  
後の援助行動が促進される

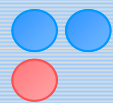
### ◆フリードマン & フレーザー (1966)

ある地域の家を訪ね、  
玄関に「安全運転」の立て看板を  
設置するようにお願いした。

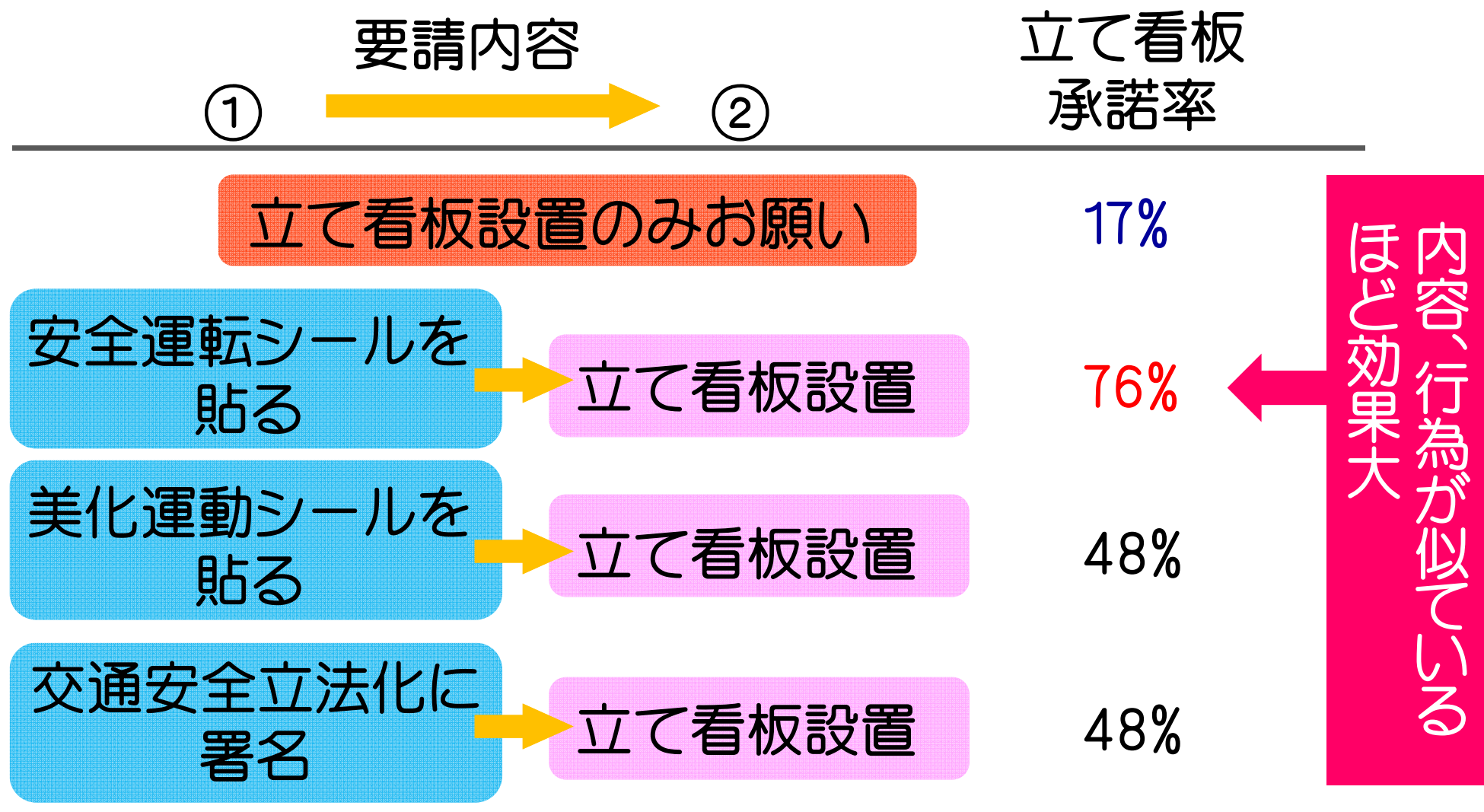


➡ どの程度、受けてもらえるか？

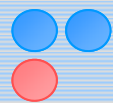
立て看板設置の要請のみをする条件と、  
2週間前に別の要請をする条件があった



## 援助行動の規定因③



はじめの小さな援助が、後の大きな援助を促進した



## 援助行動の規定因④

### 傍観者効果

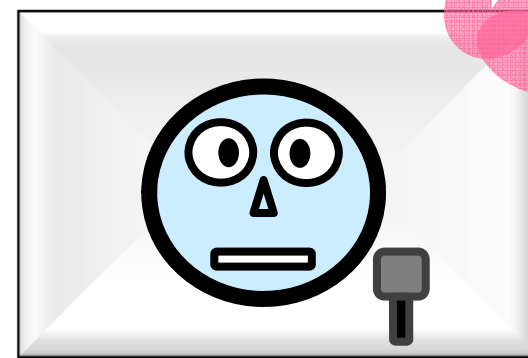
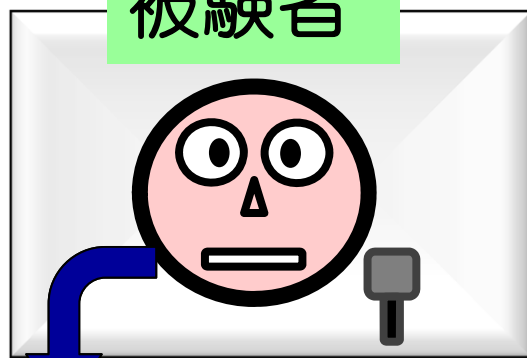
援助に消極的な傍観者がいる状況では  
援助行動が抑制される

#### ◆ ダーリー & ラタネ (1968) — 模擬発作実験

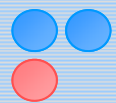
集団討論の最中に参加者が発作を起こす

ひとりずつ順番に  
2分間意見を言っていく

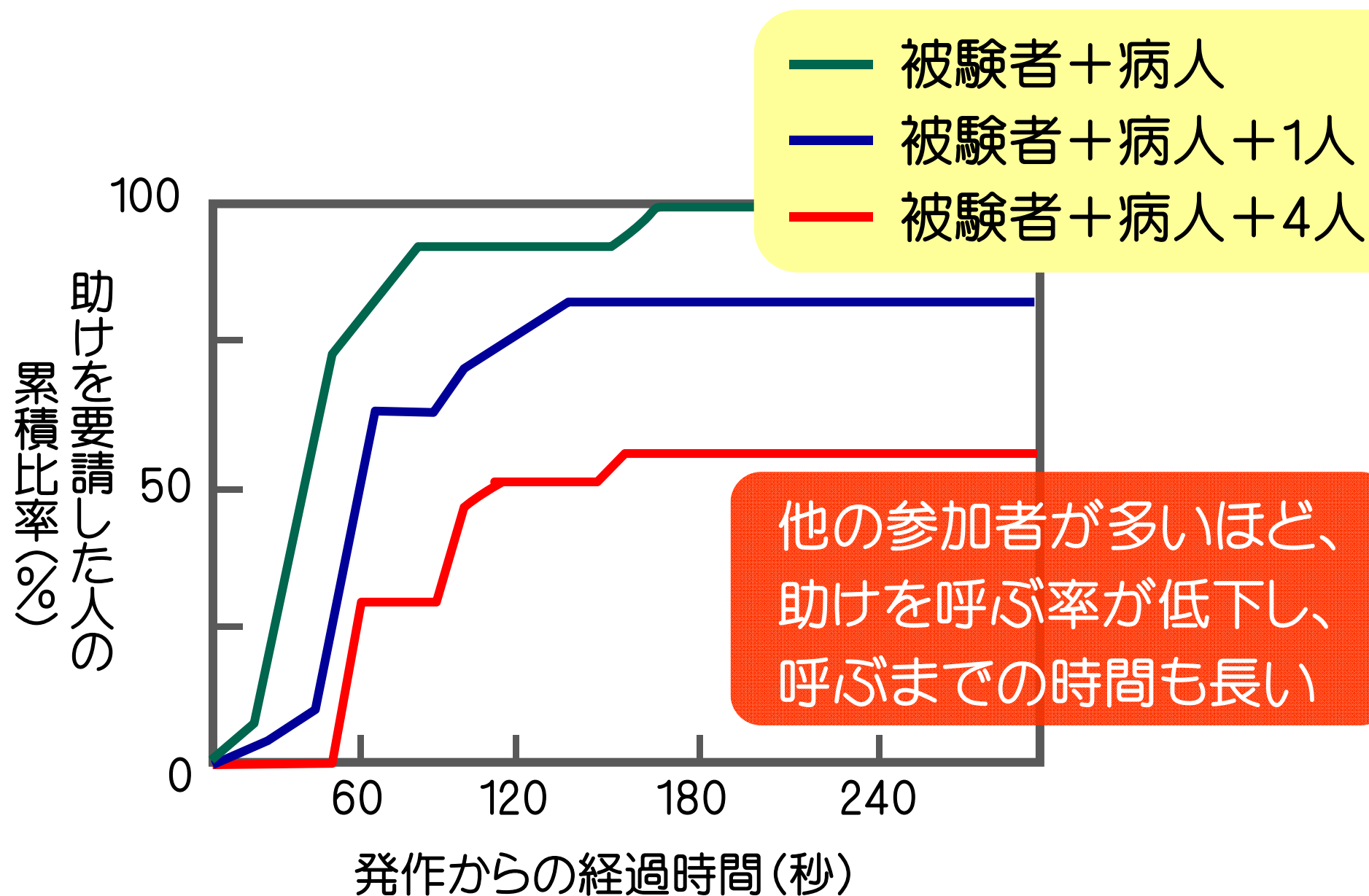
被験者

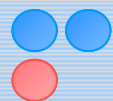


いつ助けを呼びに行く？



## 援助行動の規定因④





## 援助行動の規定因④

他の参加者が多いほど、  
助けを呼ぶ率が低下し、  
呼ぶまでの時間も長い

なぜこうなるのだろうか？

Q5

評価懸念

もし緊急事態でないのに自分だけ  
慌てたら他の人に笑われる

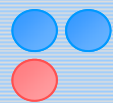
多元的  
無知

他の人が助けないということは、  
援助する場面でないのだろう

責任の  
分散

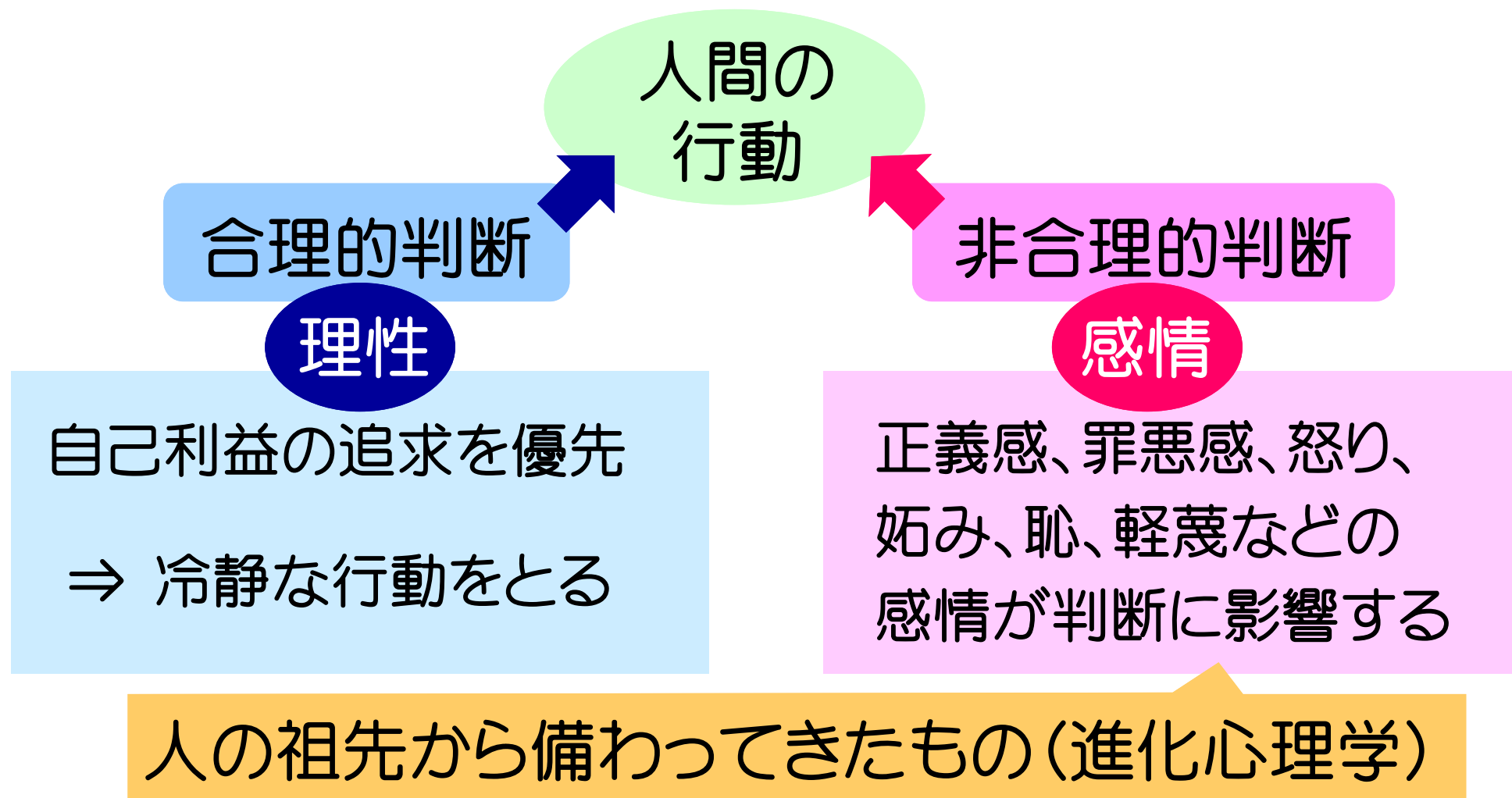
自分が助けずに悪い事態になっても、  
自分だけの責任ではない

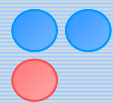




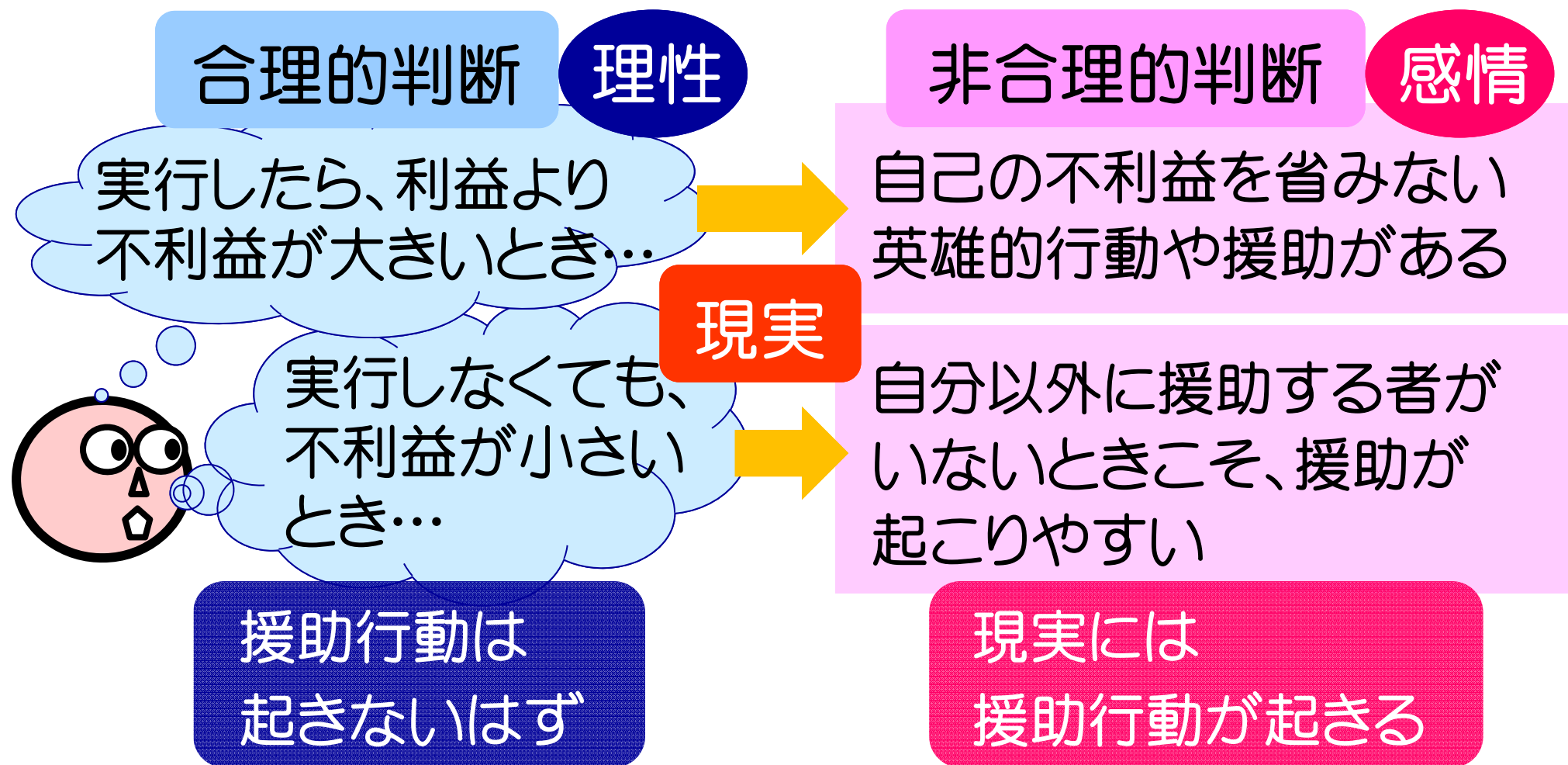
# 援助行動を支えるもの

自分の命を落とす危険もあるのに、  
援助行動がとられるのは、なぜか？

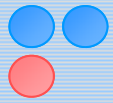




# 援助行動における理性と感情



➡ 非合理的な感情による行動こそが、  
人間の高潔さを作ることもある

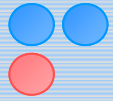


## 援助行動と感情



J. ケイガン(1984)

“道徳的行動に合理的な理由を求めて、  
多くの倫理哲学者がつまづいてきた。  
それを支えるのが論理ではなく感情だと  
理解するまで、つまづき続けるだろう。”



# お金と幸福

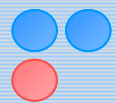
① 自分の収入金額の大きさ

② 自分のために消費する金額の大きさ

③ 他者のために消費する金額の大きさ  
(寄付、プレゼント等)

自分の幸福に対する影響力の強い順に並べると、  
どういう順になると思う？

Q6



## お金の使い方についての実験

### ◆ダン, アクニン, & ノートン(2008)

実験参加者に、朝5ドル or 20ドルを渡し、  
夕方5時までにそれを使って戻ってきてもらう

自分のための  
買い物等を使う  
ように指示

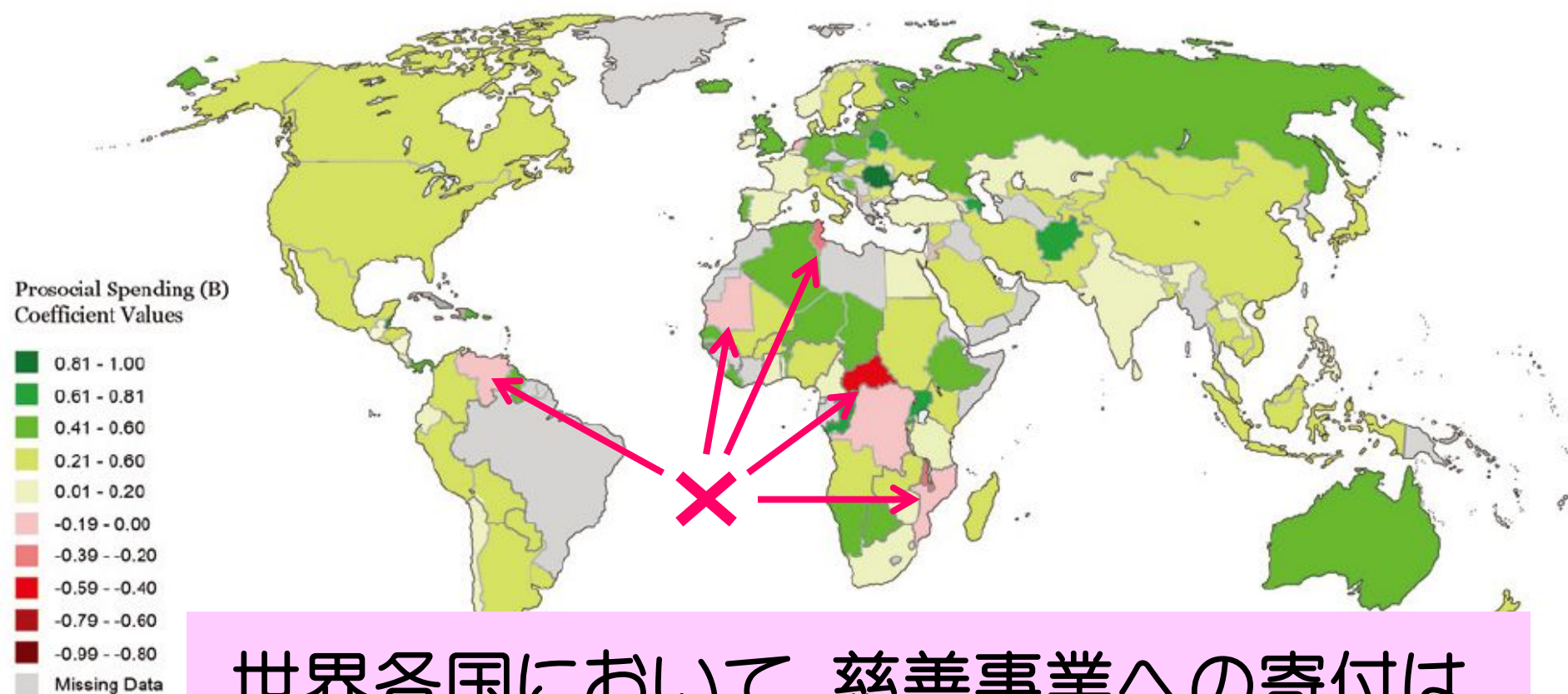
他人へのプレゼ  
ントや寄付等に  
使うように指示

もともとの幸福度に関わらず、他人のために  
お金を使った群の幸福度が高くなる

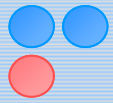
# 世界各国の慈善事業への寄付と幸福度の関連

## ◆ダン, アクニン, & ノートン(2014)

Prosocial Spending Predicting Well-Being



世界各国において、慈善事業への寄付は幸福度と関連がある



# お金と幸福

## ① 自分の収入金額の大きさ

幸福度と関連するが、一定額を超えると関連がなくなる or 幸福度を下げる傾向が見られる

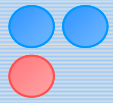
## ② 自分のために消費する金額の大きさ

他の2つと比べると関連は非常に低い

## ③ 他者のために消費する金額の大きさ (寄付、プレゼント等)

収入の多さに関わらず、①と同じくらい幸福度と関連する





## 本日の回答

人はなぜ人を助けるのか？

自己の利益・不利益だけで考えれば、援助行動は損になる場合が多く、非合理的な行動である

援助行動の生起率を変化させる要因は、人の非合理的な感情の部分に働きかける

しかし、人のために行動することが自分自身の幸せな感情にもつながるという意味で、大きな利益を生んでいるともいえる